

# 調布市地域包括支援センター 包括・仙川便り 2024.10

地域包括支援センター仙川は、65歳以上の方を中心とした相談窓口です。  
仙川便りでは、毎月さまざまな活動報告や知って得する情報をお届けします。



陰暦では10月を「神無月(かんなづき)」と呼びます。俗説には日本中の神様が、出雲の国に集まって会議をするので、地域の神々がいなくなってしまうことから「神無月(かんなづき)」と呼ばれたそうで、反対に神様の集まる出雲の国では「神在月(かみありづき)」と呼ばれたそうです。



## 調布市認知症サポート月間(活動報告)

9月は認知症サポート月間でした。期間中は認知症に関するイベントをいくつか実施していました。ご来場になられた方々もたくさんいらっしゃったのではないのでしょうか。次回もお会いできることを楽しみにしています。



9/18(金)に開催された「地域丸ごと認知症支援を実践！多機能型介護サービス」の講演会の様子です。当日の飛び入り参加もあり、多くの方にご来場いただきました。それだけ、老後の生活に対する不安が大きいのだと思います。

いざという時、「介護や認知症に対する知識」を少しでも持っている「安心感」が違ってくると思います。みなさん、片手に書き物を持ち、一言も聞き洩らさないようにと真剣な表情で参加されていました。講師の話しに笑いもあり、「アッ」という間に終わってしまいました。



### オレンジガーデニングプロジェクト

今年も「認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色の花で調布の街を染めようという活動」の輪が広がりました。ご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。

## 「地域のゴミ出しに関して考える」地域ケア会議の報告

ゴミ対策課や、シルバー人材センター、ゆうあい福祉公社、訪問介護事業所などからお話を伺い、様々なサービスがあることを理解することができました。



事業所からは、人材不足によりすべての方へサービスを届けることができていない。分別されていないゴミは、作業員の方が手作業で分別している実情などを聞くことができ、「これくらいならいいだろう」は、人材不足の現状では様々な所へ影響を及ぼすくらい大きな問題に発展して

いくことや、隣近所、上下階、地域で助け合う「お互い様」の気持ちが大切になってくる世の中になることを再認識出来ました。話し合いの中で、「子供たちにもお手伝いしてもらえたらいいね。」「いつでも出せるボックスがあるといいな。」など様々な意見がありました。

社会福祉協議会から「地域で何か活動をしたいというときはご協力します。お声掛けください」との事でした。会議をきっかけに、それぞれの地域で今回出たアイデア、意見が形になれば、これからの超高齢化社会の準備につながるのではないかと感じました。

### 介護教室のご案内

『耳の聞こえ、気になりませんか？』

**\*10月23日(水)10:00~11:30**

耳から始める健康

～きこえと難聴・補聴器の話

講師：株式会社 フジ医療器

認定補聴器技能士 宮入 栄美子 氏

**\*10月24日(木)10:00~11:30**

認知症予防は耳から

～聴覚機能の衰えとフレイル

講師：包括支援センター職員(看護師)

場所：仙川ふれあいの家

申込み順/各日 20名・参加無料

申込み：包括支援センター仙川



知っていますか??

充電式の

小型家電に内蔵されている

「リチウムイオン電池」

携帯扇風機などは青いゴミ袋の

「もやせないゴミ」には入れるのは

**絶対ダメ**です!

電池の状況によって圧縮されると発火するそうです。

必ず、有害ごみとして

分かるように排出

してください。

調布市地域包括支援センター仙川

〒182-0003

調布市若葉町 2-22-2

電話：03-5314-0030

FAX：03-5314-0031

※包括便りのバックナンバーはこちらです

